

国際ワークショップ「アマゾンの持続的開発とアグロフォレストリー-農産物流通」

<趣旨> 移住百年を経て、アマゾンの日系農業者は、「森をつくる農業」とも呼ばれる遷移型アグロフォレストリーを開発しました。この農法により、環境に優しいより持続的な農業生産が期待されています。遠隔地から多品種少量生産のアグロフォレストリー農産物を流通させる上での諸問題を指摘し、その解決方法について総合的に検討します。

<日時> 平成21年12月17日(木曜日)13時00分～17時40分 (正午受付開始)

<会場> 東京農工大学府中キャンパス 大学院連合農学研究科第2会議室
([全国18大学23拠点へ多地点制御遠隔講義システムで中継](#))

<主催> 東京農工大学

<後援> 外務省

<使用言語> 日本語

<定員> 200名

<入場料> 無料

<お申し込み・お問い合わせ> Eメールでamazonia.tuat@gmail.comまで、締め切りは12月17日(木)正午です。件名「ワークショップ」とご記入の上、本文に氏名、所属、連絡先電話を明記してご送信ください。

<会場への交通> <http://www.tuat.ac.jp/access/index.html>「交通・キャンパスマップ」参照。地図上で府中キャンパス(桃色)をクリック「府中キャンパスマップ」を開き、20番建物4階へ。公共交通は、京王線府中駅北口(のりば2)とJR中央線国分寺駅南口(のりば2)を結ぶ京王電鉄バス「寺91」系統で晴見町(はるみちょう)ないし明星学苑(めいせいがかえん)下車徒歩2分、または、JR武蔵野線北府中駅下車徒歩10分。駐車場に限りがあるため、お車でご来場を希望される場合、事前にEメールでご相談ください(駐車料金1回500円)。

<プログラム>

13:00-13:10 開会挨拶 小畑秀文 東京農工大学学長

13:15-13:35 AFと流通 デニス・ギャリティ 世界アグロフォレストリーセンター(ICRAF)総裁

13:40-14:00 アマゾン・イニシアチブと日本の役割 ホベルト・ポホ ICRAF/IA事務局長

14:00-17:30 ワークショップ モデレーター 服部順昭 東京農工大学農学部評議員・教授
小長野道則 トメアスー総合農業協同組合(CAMTA)理事

荒森幾雄 明治製菓株式会社常務執行役員・食料健康総合研究所長

長澤誠 株式会社フルッタフルッタ代表取締役

大塚克己 特定非営利活動法人森の会理事長

横田雅史 特定非営利活動法人HANDS 事務局長

眞部信次 特定非営利活動法人Arco Iris理事・事務局長

15:00-15:30 コーヒーブレイク(フロアから質問・意見メモを回収、後半で指名回答)

17:15-17:30 まとめと提言(モデレーター)

17:35-17:40 閉会挨拶 小野隆彦 東京農工大学理事・広報国際担当副学長